

2018年11月5日

中部国際空港内 燃料電池フォークリフト用水素充填所 営業開始のお知らせ

株式会社鈴木商館（代表取締役社長：鈴木慶彦）は、中部国際空港貨物地区内に建設を進めておりました「燃料電池フォークリフト用水素充填所」を竣工し、11月2日に開所式を行い運用を開始しましたので、お知らせいたします。

鈴木商館は、愛知県が設置した「セントレアFC産業車両導入促進ワーキンググループ」の一員として、フォークリフト等産業車両の燃料電池化について検討を進めており、このたび当社が中部国際空港貨物地区において燃料電池フォークリフト用の水素充填設備を設置・運営するプロジェクトを受注しました。本設備の整備にあたり、環境省補助金「平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（再エネ等を活用した水素社会推進事業）」および愛知県補助金「愛知県水素ステーション整備費補助金」を活用しております。

空港の充填所に設置された設備は SmartFuel®水素供給技術を利用して充填が行われます。SmartFuel®は米国エアプロダクツ社が開発した安全性と信頼性に優れた水素充填供給技術であり、当社とエアプロダクツ社は、2014年12月に資材運搬車両用水素ステーション事業に関する提携契約を締結しております。

充填設備は、二酸化炭素の排出量を抑制するため、敷地内に太陽光発電システムを設置し、得られた電力を用いて水の電気分解により発生した水素を利用するオンサイト型です。

設備構成：

- ・ 太陽光発電設備 : CIS 太陽電池パネル（185W×284枚；約50kW）
- ・ 水素製造装置 : 高分子純水電解型（最大5Nm³/h）
- ・ 水素圧縮装置 : レシプロ式4段圧縮、常用圧力45MPa
- ・ 水素蓄圧器 : タイプ3複合容器 300L×4本（常用圧力45MPa）
- ・ ディスペンサー : 35MPa 充填（ノンプレクール）
- ・ 再エネ水素製造量 : 約40Nm³/日

充填所概要：

- (1) 運営会社 : 株式会社鈴木商館
- (2) 開所日 : 2018年11月2日(金)
- (3) 設置場所 : 愛知県常滑市セントレア1丁目2番地
- (4) 敷地面積 : 約1,100m²
- (5) 充填圧力 : 35MPa



【 燃料電池フォークリフト用水素充填所外観 】

※ 写真中の FC フォークリフトは実際の運用予定の車両ではございません

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社鈴木商館

東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡ

経営企画部 渡邊、市村

TEL 03-5970-5553